

令和5年度 岡津地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリア内は遺跡や寺院が数多く存在する歴史ある地域です。また、地区センターやコミュニティハウス、スポーツセンターなどの施設が充実し、地域活動が活発に行われています。連合町内会を担当しているケアプラザとして各種団体の会合や催事に積極的に参加し、活動の支援を行っています。高齢化率は27.25%で、人口ピラミッドをみると50代前半にボリュームゾーンがあることから、今後さらに高齢化が見込まれる中で、今から地域力を高めていくことが必要と考えます。互いに支え合い助け合う地域づくりを、地域、関係機関・行政と連携して推進していきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援や学齢期の子どもを対象とした事業を実施し、居場所支援や交流の場の提供を行います。子育て支援については、中川地区子育て応援キャラバン隊とも連携して実施します。 ケアプラザならではの福祉的な視点で自主事業を実施します。 ケアプラザを知ってもらうため、多くの地域住民の方が参加できる事業を実施します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 各サロン、シニアクラブ、地域イベント等より得られた情報から、地域資源を活用し住民が必要としている新たな居場所・交流の場の創出を行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座やさらにサポーターにはステップアップ講座を開催していきます。チームオレンジの繋がりを活かして、認知症カフェを継続的に開催していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括合同ケアマネ連絡会やケアマネサロン等研修会等を開催し、スキルアップを図る機会を提供すると共にケアマネジャー同士の連携を支援します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> サービスB、インフォーマルサービス、ケアプラザの自主事業等幅広く、提示しやすくまとめパンフレットを用いたり、見学を進めるなどの支援を行います。新たなサービスの情報収集を行います。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- チームオレンジ事業として、認知症ステップアップ講座を開催しました。VR体験を通じて、認知症の方への寄り添い方を学びました。
- 認知症カフェでは当事者や家族だけではなく、ケアマネジャー等関係機関の参加もありました。今後も地域に根づくよう周知します。
- 西が岡小学校の総合学習に協力し、ケアプラザの役割を伝えました。より学習を深めてもらうために館内の見学を実施しました。
- 「5くみスポーツでみんなのげんきアップ」では地域の方々との交流を目的とし、開催を予定しています。
- 岡津小学校の人権週間の学びの場として、5年生には「車いす体験」3年生には「認知症サポーター養成講座」を開催しました。
- 地域ケア会議では「認知症の方への支援」「8050問題」等、民生委員や関係機関と支援の方向性を共有しました。
- 「スマホお助け相談室」では使用方法についてアドバイスができるよう個別に対応しました。

区からのコメント

- チームオレンジ事業では、認知症の方への理解を図るためのVR体験や小学生向けの認知症サポーター養成講座、チームオレンジの繋がりを活かした「認知症カフェ」が開催されました。次年度も、正しい認知症理解に向けた事業の展開を期待しています。
- 地域ケア会議では「認知症の方への支援」「8050問題」等、多職種間で意見交換も工夫して行い、民生委員や関係機関と支援の方向性が共有されています。次年度も積極的に地域ケア会議の開催を期待しています。
- 地域活動の支援では、支援団体や地域の担い手と連携し、子育て支援や学齢期の子どもを対象とした事業を実施して、居場所支援や交流の場の提供を行い、地域の多世代交流や地域住民の相互理解に向けた取組が進められています。次年度以降も、互いに支え合い、助け合う地域づくりを、地域や関係機関、行政と連携して推進してください。